

ちよつとだわつて四季折々の体験を

CASNは二〇〇一年二月に正式発足し、大津あいあい保育園は同四月に開園しました。新しい保育園にとって、CASNからの支援が不可欠と感じて、理事として活動に参加してきました。

めまぐるしく社会情勢は変わりますが、子育ての時期くらいは、子どもたちに目線を置きながら、ゆつくりのんびりと子育てを楽しんでほしいと思います。そんな思いから、CASNは、第一回「スローな子育て／冬フェスタ」を本年二月、当園を会場に開きました。季節の味を冬野菜の煮込みうどんで味わうなど、先人から受け継いだものを自分たちでもう一度体験し、次の世代に伝えていく企画でした。

今年の春、園庭の垣根にはよもぎが青々と密生して育ちました。それを子どもたちと一緒に摘み、てんぶらにして食べました。「おいしい」の連発でした。その後、子どもたちは

天気がよいと毎日のように摘んできます。たくさんたまったので今度はよもぎだんごにしました。鮮やかな緑と香りは子どもたちの味覚をじゅうぶんに刺激したようです。



ヨモギだんごを作る

都会で子ども時代にこんな自然との出会いがあるなんて、まだまだ捨てたものではありません。ちよつとこだわれば四季折々の体験を広げることができます。ぜひぜひCASNの次回「スローな子育て」でたくさん子どもたち、大人たちにお会いして、よい汗を流してみたいと思います。(大津あいあい保育園長)